

# 北海道NPO情報



NPO推進北海道会議

北海道NPOサポートセンター

発行 北海道情報宣伝研究会  
札幌市中央区北4条西12丁目E  
1976年7月9日第3種郵便物認可  
定価 100円

【6月号】

市民活動団体を支える社会的支援システムを強化しよう! 【2004年6月発行】



もくじ	ページ
NPO推進会議 / サポートセンター総会報告	2
研修日誌 / NPO認証数 / 道しみせん委託事業	3
市民による税制財政会議 (札幌)	4
NPO越智基金公募助成案内	5~7
NPOバンク	8
NPO総合情報誌 [えぬぴおん] バックナンバー	9
NPOサポート事業のご案内	10
NPOな・・・(書籍紹介)	11
情報BOX (イベント案内)	12
助成金情報	13~14



## 道民カレッジ連携講座 (北海道NPOサポートセンター実施分)

いずれも会場は札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階研修室

### NPO法人のための会計講習会『基礎から学ぶパソコン会計』

日時: 第1回 6月21日(月) 18:00~20:00  
第2回 6月24日(水) 18:00~20:00  
第3回 6月28日(月) 18:00~20:00

参加人数 10名程度 (1団体2名まで)

対象者 会計の基礎から学びます。会計経験の少ない方でも受講いただけます。

パソコンの操作 (キーボード入力・マウス操作) ができる方に限らせていただきます。

参加費 1名 6000円 (3回分)

講師 小沼千佳子 (北海道NPOサポートセンター 会計担当)

申し込み 団体名 参加者氏名 連絡先 電話番号を

FAX 011-281-8807 か、Eメール [npo@mb.infosnow.ne.jp](mailto:npo@mb.infosnow.ne.jp) でお申込下さい。

締め切り 6月16日(水) 定員になり次第締め切ります。(最小受講人数3人)

個別講習も実施します。詳細はお問い合わせ下さい。税務処理などはNPO会計に詳しい税理士をご紹介します。問合せ電話 011-271-5208【山本】

講座名	定員	受講料	日程	備考
NPO起業科短期集中コース	20	10,000	5月31日, 6月2, 7, 9, 14日(10:00~12:00)	5回
NPO会計講座	10	6,000	6月21, 24, 28日(18:00~20:00)	3回
NPOパソコンプレゼンテーション	10	6,000	7月1, 5, 8日(18:00~20:00)	3回

#### NPO起業科講座短期集中コース

開催日: 5月31日(月)~6月14日(月) 時間: 午前10:00~12:00

会場: 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8F 北海道NPOサポートセンター研修室

定員: 20名 受講料: 10,000円 (全5回、資料代込) 対象 NPO法人をこれから立ち上げようとする方。既にNPO法人を立ち上げているが復習したい方。NPO法人のスタッフ等。

問合せ電話 011-271-5208【山本】(開催決定)

## NPO 推進北海道会議 & 北海道 NPO サポートセンター 第4回通常総会開催報告

5月25日午後6時30分～札幌中央区民センターで開催。

総会に先だって、田口晃推進会議代表の講演を聴きました。タイトルは【NPOと「世論」/「世間」】。「世論」、「公衆」、「出世主義」などをキーワードにイラク人質事件や北朝鮮拉致事件に対する風潮の背景として「世間 vs 利己主義の二分法しかないところで個人主義が育ちづらかった」という視点を提起された。しかし、弱い個人を少し強くする機会、個人を出発点に「社会」を作ることがようやく可能になってきたという認識の基、個人を出発点にしたNPOのやり方を広める。

「囲い込み症候群」から脱して緩やかな形の社会連帯を生み出す。

非暴力/非権力として政治に関わることが重要。と問題提起されました。

NPO 法人設立5年の節目を迎え、推進会議総会は議長に長崎昭子理事を選任し、事業・決算報告、監査報告、事業計画・予算が原案通り満場一致で承認されました。これまでに最高の出席者で、認定NPOや事業課税など質疑や意見交換が行われました。最後に役員の変更があり終了しました。【理事】田口晃、杉岡直人、杉山さかえ、佐藤隆、小林董信、大滝和子、長崎昭子、森影依、森田麻美子、廣田まゆみ【監事】上野昌美、板垣俊夫

続いて、NPO サポートセンターの総会が開かれました。杉山理事長が急病で欠席でしたが、議長には加藤知美理事が選任され、こちらも滞りなく全議案が拍手で承認されました。最後に役員の変更があり終了しました。

【理事】杉山さかえ、石田幸子、加藤知美、小林董信、佐藤隆、杉岡直人、高木晴光、武田るい子、田口晃、津田祥子、五十嵐幹雄、池田晴男、清野光彦、谷井貞夫、日置真世、森田裕子 【監事】西城戸誠、山田澄子



【NPO 推進北海道会議 2004年度事業活動計画（はじめに）】早いもので、NPO 推進北海道会議が法人化して既に5年が経ちました。活動報告にもある通り先日、法人設立5周年のパーティーも盛大に行われました。この間北海道のNPOの多くが成熟し、活動の評価を検討する段階に達しつつあるのは喜ばしいことといえましょう。推進会議の新しい課題です。しかし、NPOに対する認識が十分に広がり、深まったとはまだ言いがたい面もあり、推進会議の従来型の普及・宣伝活動もまだまだ必要だと実感している今日この頃です。更に、大掛かりな構造転換の中で、従来は考えられなかったNPOの新たな活躍分野や活動スタイルも、あちこちに見え始めています。そうした新しい隙間でNPOに相応しい運営の形を探って具体化して行くことは、困難ではありますが、やりがいのある推進会議の課題と言えましょう。推進会議のメンバーの皆さんのお知恵、お時間、それに少しばかりのお金を拝借して、NPOが育つ条件と環境を整えて行きたいとおもっています。今年も皆さんと一緒に進みましょう。

【2004年度重点課題】 以下の3点を重点課題に設定しとりくみます。1. 北海道や札幌市をはじめ道内各自治体への政策提言 2. NPOの自己評価、「協働」の評価、などNPO活動の社会的信頼性を高めるとりくみ 3. 公益法人改革の課題へのアプローチ

【北海道 NPO サポートセンター 2004年度事業活動計画（はじめに）】NPO法施行から5年が経過し、社会状況を反映した社会問題解決型NPOがどんどん誕生しています。2000年4月の介護保険制度発足に伴い事業型の先鞭をつけた「介護NPO」法人が着実に力を付けていると同時に、ごく一部に介護保険法の趣旨を十分理解していない法人が出てきました。また、最低限のルールである事業報告・決算報告の提出を怠っているNPOも残念ながら散見されます。新時代を切り拓く役割への期待と同時に不良NPOへの厳しい視線があります。こうした状況の中、NPO推進北海道会議が行うNPO評価の仕組みづくりと連動して、NPOが企画提案する企業や行政との協働事業を推進していきます。道内のNPO法人では「不登校・登校拒否児童生徒の増加」に対応する「フリースクール」の増加、レスパイトサービス、支援費制度参入、子育て支援や青少年自立支援、サラ金対応、失業者対応、IT支援などの新分野NPOが増えていきます。こうしたNPO法人同士のジャンルを超えた連携強化が必要です。

地域社会への貢献という意味では、政策提言・調査研究などができるNPO、起業家輩出・人材育成ができるNPOなどの「専門性の高いNPO」の必要性が痛感されます。NPOサポートセンターの役割の変化 行政との関係の変化、NPO支援内容の変化を的確に捉えたNPOサポート態勢の充実を図ります。

【お詫び】会員に事前配布しました「議案書」に誤りがありました。後日正確な総会議案をホームページに掲載いたします。関係者のみなさまにご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

## 引越し・旅行・車検のことなら…札幌”はこび愛ネット”をご利用ください！

ご存知かもしれませんが、飛んでけ！車いすの会をはじめ札幌チャレンジなど10団体ほどが参加しているもので、札幌さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して！」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。どうやって利用するの？申し込みはとても簡単。下記の”はこび愛ネット”推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行（札幌トラベル）、車検・自動車修理（札幌自工）と文房具（札幌商事）などの購入です（一部対象外あり）。ぜひご利用ください。 問い合わせ・申し込みは 札幌”はこび愛ネット”推進事務局 TEL(011)251-4111内線250番(担当:佐藤さん) FAX(011)231-7063

## NPO研修日記

2004年度 その2



濱市朝子

## サポセンの歯車

道庁ではいくつかの部署を経験してきました。病院の受付、事務、水産関係、はたまた税金関係の部署に至るまで、様々です。それぞれに専門的な知識を要求され、しかも短期間で習得しなければならずとても大変なのですが、いろいろな職種を経験することで、そこでしか得られない貴重な体験や人との出会いがあり、良い経験になりました。そしてNPOです。こちらに来て、行政との違いを最も感じているのは組織の運営です。道庁では組織が大きいということもありますが、自分が携わっている仕事が、結果的にどういうことにつながっていくのかが目に見えにくく、巨大な機械の小さな歯車どころか、それを支えるネジの一つといった感覚でした。勿論そんなちいさな部品でも、キチンと役目を果たさないとシステムとして機能しないことは言うまでもありません。しかし、NPOでは一人ひとりが大きな歯車であると同時に、動くシステムそのものであるという印象を受けました。自分の意向や一挙一動が結果としてすぐ表れるのです。それだけに一人一人の力や思いをそのまま反映でき、やりがいがあると同時に、その結果も責任も直に受け止めなければなりません。「リラ冷え」といわれるさわやかな五月の札幌、今日もサポセンの歯車となるべく奮闘している私です。

## 特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

全国の申請受理数「北海道含む」 4/30現在（内閣府のホームページ）	受理数	認証数	不認証数	解散数
		18098	16549	81
道内の申請受理数 4/30現在（北海道）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	657	613	0	5

北海道内のNPO認証状況は道庁HP <http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

北海道立市民活動促進センターでは、平成16年度の講座、フォーラムの企画・開催パートナーとなる市民活動団体を次のとおり募集しております。詳細は、当センターのホームページをご参照下さい。応募用紙等の必要書類をダウンロードできます。**応募締切は、いずれも平成16年6月11日（金）です。**

## ● 市民活動基礎講座（企画＆開催パートナー募集）

コミュニティづくりやボランティア活動、NPOなどの市民活動に関心のある方々を対象に、市民活動への参加の動機付けや市民活動の基礎知識の修得、市民活動団体情報の提供等により市民活動に対する意識の向上やネットワークの形成等を図るための講座を企画し開催パートナーとなる市民活動団体を募集しています。開催地：道内10箇所 募集数：10団体

## ● 市民活動スキルアップ講座（企画＆開催パートナー募集）

市民活動団体のスタッフなどを対象に団体の抱える課題解決策や市民活動を進める上で必要な実務について、実践に活かせる知識や手法など具体的に学ぶことにより、市民活動団体の活性化とスタッフの能力向上を目的とする講座を企画し開催パートナーとなる市民活動団体を募集しています。

開催地：道内5箇所募集数：5団体

## ● 地域リーダー養成講座（企画＆運営団体募集）

ボランティアやNPOなどの市民活動の実践者を対象に、地域において指導力を発揮するリーダー的役割を担う人材を育成するための研修講座として、講義や演習により広域的な視野と専門的な知識や技術の習得を図ることを目的とした講座を企画し運営する市民活動団体を募集しています。開催地：道内5箇所 募集数：5団体

## ● 市民活動地域フォーラム（企画＆運営団体募集）

地域で活動する市民活動団体や企業、行政関係者などが集い、地域的な課題をテーマとする地域密着型のフォーラムを開催し、市民活動に対する理解と促進につなげることを目的とした企画を募集しています。

開催地：札幌市を除く道内5箇所 募集数：5団体

たくさんの応募をお待ちしております。

問い合わせは 北海道立市民活動促進センター

TEL 011-261-4440 FAX 011-251-6789 URL：<http://www.fureaizaidan.or.jp/npo.html>

## 「市民による税制財政会議」スタート（札幌）出前講座3回開催！主催：API Japan

NPO（市民）が行政と良好なパートナーシップを築くためには、NPO（市民）の企画提案能力（市民力）を向上することが必要です。「市民力」の向上を目的に4月～5月に3回学習会を開催しました。

（当会議の企画趣旨）・次年度の札幌市の予算について一緒に考えませんか？・札幌市と市民（NPO）との協働のあり方を再検討しませんか？・そして、福祉・環境・芸術文化・まちづくり・教育・雇用などNPOの現場の声をまとめて札幌市に企画立案しましょう！この「市民による税制財政会議」では、市民（NPO）の声を札幌市の政策に反映することを目的としています。そのために、私達市民（NPO）の側も札幌市の税財政に関する意識や知識を高め、行政の方々と対等に議論する能力を身に付ける必要があります。国連の各種機関がNGO等を抜きには政策の立案ができなくなっているように、札幌市においても各担当部署と市民（NPO等）とが現場の情報を共有するとともに相互理解を深めながらより良い政策を立案していくことが必要となっています。この機会に、市民（NPO）も行政のルールを理解するとともに、市民活動の現場の声をまとめて行政に企画立案する手法を学習しましょう。

また、この会議では、1年間にわたって（来年の3月まで）、札幌市の税制や財政の状況や市民活動関連の予算の動きを市民に発信していきます。この「市民による税制財政会議」は（財）トヨタ財団の2003年度の市民活動助成により実施しています。NPO推進道会議と北海道NPOサポートセンターはこの取り組みに賛同し、共催団体としてお手伝いしています。

註）API-Japan（代表：瀧谷和隆税理士）は、市民活動団体の財務会計アドバイス支援を中心に活動を進めている内閣府認証のNPO法人です。

### 第1回

4月28日（水）午後6時から8時半まで  
会場：札幌市民会館。参加費：無料。参加者60名。  
内容：札幌市の予算や議会の仕組みについて  
札幌市のこれまでと今後の市民活動関連の施策について。  
市民（NPO）から札幌市への「企画提案」について  
札幌市とNPOとの協働事業の事例紹介  
・NPO法人札幌チャレンジ  
・NPO法人コンカリーニョ  
質疑応答及び意見交換

以上の内容を、札幌市市民局市民活動促進担当課課長渡邊さん。担当者渡邊さん。西区市民部長山本さん。を交えて行いました。市からの説明。札チャレ加納さんとコンカリーニョさんの行政との丁々発止のエピソードを含む報告は大いにヒントになり、また参加された市職員3名もNPO活動に理解の深い方だったので、参加者にとっても有意義な会になりました。

### 第2回IT支援NPO情報交換会

5月14日（金）午後6時～午後8時30分  
会場 札幌市中央区民センター 開催趣旨：今回、分野別にNPOの取り組みと主に札幌市との協働事業推進に向けて情報交換会を企画いたしました。札幌でITを使って市民活動支援などを行っているNPO法人が20団体を超えて設立されています。今回、こうしたIT系NPO法人のみなさんが一同に会し、お互いの活動内容の理解促進に努める場として、開催しました。参加者は13団体30名。参加各団体からの活動報告、情報交換があり、こちらも有意義な集まりになりました。早速情報交換MLが開設されました。オブザーバーとして札幌市情報化推進部村椿さん、札幌広域圏組合輪島さんが参加されました。



第3回 「市民による税制財政会議」テーマ：「入札と公共サービス」（札幌市の契約制度（業務委託と指定登録）について考える）日時：5月24日（月）18：30～20：30会場：エルプラザ 内容：NPOも入札などに参加し、積極的に公共サービスを担うための課題と展望について一緒に考え行動しましょう！！ということで、札幌市の契約制度（一般競争入札・随意契約など）について。入札や指定登録の概要（年間スケジュール・必要な資格・書類等）について。札幌市財政局・管財部・契約管理課の課長及び係長など6名の方々が説明してくださいました。

次いでNPOが公共サービスを担うことの現状と課題について事例報告を（行政との契約締結までの経緯について）NPO法人旧小熊邸倶楽部代表東田秀美さんに伺いました。積極的に行政に「もの申す」姿勢が大切との示唆をいただきました。参加者30名で、契約事業の情報公開や政策発注などについて意見交換しました。札幌市の「出前講座」として実施しました。

### ホームページ開設

<http://www.apijapan.org/zeizaikaigi/>

### 今後の予定

- 第4回 7月中旬 議員との意見交換会
- 第5回 8月中旬 札幌市職員との意見交換
- 秋期集中講座 9月～10月（4回）  
札幌市の財政状況と税金、行政コスト、監査制度など広く市民に呼びかけて。
- 第6回 11月経過報告、第7回 12月 提言作成
- 第8回 1月中旬 まとめフォーラム開催

## 「北海道NPO越智基金」

NPO法人 北海道NPO越智基金

### NPO活動助成金応募要項

#### 「NPO越智基金」の趣旨

元北教組書記長・副委員長で、札幌地区労働組合協議会議長を長年務められ、1997年に他界された越智喜代秋さんが、遺言で遺産の一部をNPO活動に寄贈する旨意思表示されました。NPO推進北海道会議は、越智喜代秋さんの意志を受け継ぎ、『NPO越智基金』を設立しました。1999年は30団体に総額226万円、2000年は38団体に273万円、2001年は34団体に総額202万円、2002年は38団体に総額187万5千円、2003年は32団体に160.5万円の助成を実施しました。

#### 今年度の助成方針

2004年「NPO越智基金」はNPO活動がより活発になるための一助になるよう、NPO活動助成を行うこととします。

当基金は、非営利活動団体(NPO)に対して援助を行い、その活動の発展に寄与することを目的としています。

#### 応募について

2004年については、下記の通り募集しますのでご応募ください。

1. 助成対象 ・非営利市民活動を主たる目的としている団体(NPO)
2. 応募の資格 ・北海道内で活動しているNPO(NPO法人,任意団体)
3. 助成金額 ・総額 200万円以内  
(20~30団体程度に1万円~10万円の範囲内で助成)
4. 応募期間 助成を希望する団体は、7月15日(木)午後6時必着で応募用紙を提出してください。
5. 選考方法・発表 ・書類審査とヒアリング  
応募書類受領後、応募団体に問い合わせをする場合がありますので、その場合は応答ご協力をお願いいたします。  
・「北海道NPO越智基金」理事会において選考し、助成先を決定します。  
助成先は個別に通知すると共に北海道NPO情報等で広報します。  
(7月末を目途とします)応募提出書類は返却いたしません。
6. 助成金の使途等  
・助成金の使途について特に制限はありません。事業活動経費の足し、機器整備、人件費等、団体の活動目的を達成するために使ってください。
7. 助成実施 2004年8月予定
8. 応募用紙請求先・お問い合わせ先/応募用紙提出先  
〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階  
北海道NPOサポートセンター内  
NPO法人 北海道NPO越智基金 宛  
電話011-204-6523 FAX011-261-6524  
Email npo@mb.infosnow.ne.jp

---

#### 北海道NPO越智基金役員

理事 田口晃(代表,北大教授), 上野昌美(公認会計士), 小林董信(NPOサポセン), 佐藤隆(NPO推進会議)  
杉岡直人(北星学園大学教授), 杉山さかえ(NPOサポセン理事長), 監事 田淵直子(北星学園大助教授)

**NPO越智基金 助成金 応募用紙 記入要領** (記入例)

**応募締切 2004年7月15日(木)必着** 「記入要領」を参照して記入してください。  
 応募団体の活動に関する資料(案内、ニュース、会則、チラシ等)を同封してお送りください。

ふりがな 団体名	<u>団体名・ふりがなを書いてください</u>		電話 _____
住所	〒 <u>団体所在地の住所(郵便物が届くように)</u>		FAX _____
代表者役職名 (ふりがな) 氏名	例 <u>代表理事</u> <u>やまだ たろう</u> <u>山田 太郎</u>	会員数  名	設立  <u>1997年 5月</u>
申請者専続先 (氏名等)	申請者の住所氏名および電話 <u>番号などを記入してください</u>	携 帯 電 話 <u>お持ちの方は記入してください</u>	Emailアドレス <u>お持ちの方は記入してください</u>
団体の種目的とこれまでの主な種目内容	<p><u>目的:環境 福祉などの分野 さらには具体的な種目的を書いてください。</u>                  (NPO法人は、定款の目的を記載しても構いません)</p> <p><u>主な種目内容:これまで行ってきた種目内容を具体的に書いてください。</u>                  (NPO法人は、定款の事業を記載しても構いません。)</p> <p><u>例:集会やイベントの開催、ブックレットの発行、日常的な種目内容など</u>                  (資料があれば添付してください、NPO法人は今年度総会議案書を添付して下さい)</p> <p><u>(「別紙のとおり」といった書き方はしないでください。選考対象から除外します)</u></p>		
最近1年間の活動予算	<p>主な収入 会費...60万円 事業収入...300万円 寄付金...50万円                  助成金...80万円 バザー収入他...10万円</p> <p>主な支出 講演会費...60万円 イベント費...50万円 研修会費...80万円                  人件費...180万円 事務経費...60万円                  事務費(消耗品 電話代 郵送料など)...60万円 その他...10万円</p>		
助成申請理由と助成により期待される効果	<p>例) 研修会を企画していますが、参加費をできるだけ安くし、多くの方に参加していただくため、テキスト作成費用の一部の助成を期しています。                  助成があれば、研修会参加費を1人から5000円から、2000円に軽減することができます。</p>		
種目を進める上で困っていること	<p><u>申請理由の他に種目上で困っていることなどを書いてください。</u></p> <p>例) 会議整理が得意とするスタッフがいないため、会議担当役員の負担が重く困っています。                  また、パソコンを使えるスタッフがいないため情報収集が遅れます。</p>		

応募用紙は、上記形式であれば、罫線など多少のズレ等があっても構いません。  
 事務局記入欄


この用紙のコピーを1部とって保管しておいてください。

**NPO越智基金 助成金 応募用紙**

**応募締切 2004年7月15日(木)必着**

「記入要領」を参照して記入してください。

応募団体の活動に関する資料(案内、ニュース、会則、チラシ等)を同封してお送りください。

ふりがな 団体名			電話
住所	〒		FAX
代表者役職名 (ふりがな)氏名		会員数	設立 年 月
申請者連絡先 (氏名等)		携帯	Emailアドレス
団体の種目 的とこれまでの 主な種目内 容(別紙のと おり)といった 書き方はしない でください。選 考対象から除外 します)	目的:  主な種目内容:		
最近1年間の 活動予算	収支繰越および主な種目や事務的経費などの概算を項目別に書いてください。(長くなる場合に は概略を記し、別紙に資料を添付してください)		
助成申請理由 と助成により 期待される効果			
活動を進め る上で困っ ていること			

応募用紙は、上記形式であれば、罫線など多少のズレ等があっても構いません。

事務局記入欄


この用紙のコピーを1部として保管しておいてください。

## - 市民がつくる「銀行」 - 「第1回 NPOバンク・フォーラム」

### ～ ボランティア・ファイナンスの可能性～ 開催のお知らせ

国内初のNPO法人によるNPO向け融資を行う「北海道NPOバンク」は2002年8月に設立されてから2年になろうとしています。このような市民系バンク設立の動きは全国的に広がりつつあり、NPOの活動を資金面から支援していく存在として今後ますます注目される所です。当フォーラムでは、北海道NPOバンクの取り組みを広く紹介するとともに、他都道府県における市民系バンクの創出やネットワークづくりを目指します。

**7月16日(金)** 13時30分から17時30分まで 北海道クリスチャンセンター(札幌市北区北7西6)

基調講演(仮題)「NPOと資金調達」 杉山さかゑ(北海道グリーンファンド理事長)

パネルディスカッション テーマ「ボランティア・ファイナンスの可能性」 日本初のNPOバンク・サミットです。

【コーディネーター】樽見弘紀(北海道NPOバンク理事、北海学園大学法学部助教授)

【パネリスト】田尻佳史(日本NPOセンター理事兼事務局長) 田中 優(未来バンク事業組合理事長)

山口郁子(中央労働金庫営業推進部NPO推進次長) 向田映子(女性・市民信用組合(WCC)設立準備会代表)

杉岡直人(北海道NPOバンク理事長、北星学園大学社会福祉学部教授)

交流会 18時30分から

**7月17日(土)** 9時30分から11時40分まで 札幌エルプラザ4F研修室(札幌市北区北8西3)

**分科会1 「北海道NPOバンク設立の経緯について」**

NPOの法人数は増加の一途です。個々の熱い思いを実質の伴う社会的形態へと飛躍させるには、私たちの市民社会には足りないものが多々あります。その中でも金融は大きな課題です。NPOへの融資を実現させた北海道のプロセスを圧縮して紹介し、どこでもだれでも出来るNPOバンクへと普遍化するための分科会です。

**分科会2 「NPOバンクの運営」**

市民がつくる銀行となるためには、NPO団体がバンクをささえ、活用するという原則と市民がサポーターとしての自覚をもつことができるようなミッションが浸透しなくてはなりません。そのためには、理事会の運営方針が基本となりますが、NPO団体の活動紹介、サポーターへの情報のフィードバック、分かりやすいバンクの広報活動が大切になります。理事会の運営や広報活動への取り組みについて話し合う機会をもちます。

**分科会3 「融資審査と融資後のフォローアップについて」**

北海道NPOバンクの審査体制の特徴と融資先決定までの流れ、審査委員会が果たしている役割について審査委員から説明します。また、融資の決定に至るまでの事前相談から、面接審査までのプロセスで発生する審査上の悩みや、審査後のフォローアップ体制と延滞への対応、今後の課題と方向性について探ります。

**分科会4 「借り手から見た理想のNPOバンク」**

多くのNPOの財務基盤は脆弱であり、資金調達に関して民間金融機関から融資を受けにくく、NPOが資金繰りに苦勞することは多い。北海道NPOバンクが事業を開始したことで、NPOの資金繰りの苦勞を多少なりとも軽減することが可能になった。融資を受けたNPOは、融資された資金をどう活用し、事業展開へ活かしたのか、その恩恵を借り手から語ってもらいます。また、融資を受けるNPOがNPOバンクに何を期待し、どこが課題であるか、その意見や提案を聞きながら、NPOにとって理想のNPOバンク像を探ります。

**分科会5 「拡がる市民金融」**

市民活動を担保するオルタナティブな金融システムは、しかし、NPOベースの「銀行」によってのみ模索されているものではありません。企業、組合、行政といったセクターを超越する新しい市民金融の拡がりを現場で試行錯誤を続ける方々と考えるセッションです。

参加定員：200名(分科会は各30名)

事前にお申し込みが必要です。下記ホームページからお申し込みいただけます。

主催：北海道NPOバンク 後援：北海道、札幌市

### お知らせ・お願いコーナー

サポーター便りに掲載を希望する手記・情報がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡願います

2004 NPOバンク融資申込みのお知らせ

第8回融資 申込開始：8月2日～8月19日 ・融資実行：9月下旬

第9回融資 申込開始：10月～11月 ・融資実行：12月中旬

上記の日程は予定です。状況によっては変更する場合があります。融資に際して必要な書類はURLから取り出せます。

NPOバンクに関する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2F 北海道NPOサポートセンター内

TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524 <http://npo-hokkaido.org/>

北海道NPOサポートセンターが発行する「えぬびおん」バックナンバーご紹介 定価800円

「えぬびおん創刊号」2002年10月1日創刊! <トップ対談>北海道経済産業局・高橋はるみ局長 vs 北海道大学助教授・樽見弘紀さん 「NPOが北海道を変える」<この人に聞きたい>「北海道から新しい波を起こすために」宮田昌和さん(BizCafe運営会議議長)NPO現場百景ノ・札幌チャレンジド・

「えぬびおん第2号」2002年12月10日発行 グラビア 国際協力フェスタ/NPO・NGOスタッフトレーニング/DPI世界会議 <フロント対談>田中康夫(長野県知事)vs逢坂誠二(ニセコ町長) 特集「高齢者を元気にする地域コミュニティ」シーズネット岩見太市代表と札大佐藤郁夫先生の対談。

「えぬびおん第3号」2003年2月20日発行 グラビア 1.17災害救済ネットワークコンサート/札幌子ども会議/市民活動フォーラム <フロント対談>香山リカ/逢坂誠二 この人に会いたい! 東原太陽グループ社長

「えぬびおん第4号」2003年4月20日発行 フロントインタビュー 地域創造をめざして札幌学院大学大学院教授 上田陽三さん これからは、大学で市民活動やNPO,コミュニティビジネスを学ぶ時代? この人に会いたい! 若者に人気のイベント企画屋うわさの仕掛け人、木野哲也さんに接近。

「えぬびおん第5号」2003年6月16日発行<フロント対談>「地域が輝くとき---映画でまちおこし」映画「田んぼ de ミュージカル」とショートフィルム崔洋一(映画監督)vs久保俊哉

「えぬびおん第6号」2003年8月13日発行フロント対談「崩れた社会のネットワークをどう回復させるか~NPOが重要な役割を果たす~」札幌市長上田文雄さん vs シナリオライター小山内美江子さん

「えぬびおん第7号」2003年10月25日発行フロント対談NPOが日本を変える「一人ひとりが自己実現できる社会をめざして」上田文雄(札幌市長)×北川正恭(前・三重県知事・早稲田大学大学院公共経営研究科教授)×早瀬昇(特定非営利活動法人日本NPOセンター常務理事)NPO全国フォーラム北海道会議のオープニングフォーラムより収録。民間人であり、NPO理事から札幌市長になった上田文雄氏、三重県知事からNPO人になった北川氏らが「NPOは真の民主主義実現の担い手になりうるか」をテーマに語りあう。

「えぬびおん第8号」(12月20日発行) アラエル号でエコな生活・おもちゃフォーラム・札幌市民1000人ワークショップ フロント対談「北海道に夢とパワーを! 起業を考える」NPO法人札幌ビズカフェB2代表 宮田昌和さんVS HCM(ヒューマン・キャピタル・マネジメント)代表取締役 土井尚人さん 特集 新しい働き方「起業」・総論「起業のススメ」札幌学院大学河西邦人さん・アントレプレナー講座参加者アンケート・NPO起業成功事例・生活者として地域と仕事をつくりだす 「ワーカーズコレクティブ」という働き方・ベンチャー起業成功事例

「えぬびおん第9号」(2月25日発行) Zoom Up 道民とともに森づくりの集い・NGOとこんにちには! NGO屋台村 フロント対談「NPO法は2年後になくなる!?」I I H O E代表川北秀人さん×NPO推進北海道代表会議代表理事杉岡直人さん 特集「ボランティアスピリッツで生きる!」

ワーカーズがいく 子育て支援ワーカーズ「ブチトマト」現場百景・浪花町十六番倉庫(釧路市)・札幌VO それゆけNPO 全道の森と川の生態系・環境の守り手に スキンカモフラージュ技術をQOLの向上に 新連載・飛びまわれ車いす 飛んでけ車いすの会

## 飛んでけ! 車いすの会 活動報告 車いすでつながる旅行者と提供者

スタディーツアー報告

バングラデシュに届けた人たち、届いた車いすたち

海外旅行者の体験報告

ベトナムへ行った旅行者と運んだ車いす提供者の話

函館の人が提供した車いすを函館の人が香港へ運んだ話 家族が使っていた車いすをマレーシアへ運んだ話(ビデオ出演) いずれも海外旅行者と車いす提供者による報告が聞けます!!

アトラクションあり! 飛んでけ活動紹介劇場

入場無料! 茶菓サービス

エスニックバザー 衣装展示あり!

日時: 2004年6月6日(日)14:30~16:30

場所: 北海道医療大学サテライトキャンパス  
(札幌市中央区北4条西6丁目毎日会館6F)

後援: 北海道、札幌市、(財)札幌国際プラザ

「飛んでけ! 車いす」の会は、日本国内で使われなくなった車いすを集め、東南アジアを中心とした国々に旅行者の手荷物として車いすを運ぶ活動をしているNPO法人(特定非営利活動法人)です。

NPO法人「飛んでけ! 車いす」の会年次報告会

連絡・問い合わせ先「飛んでけ! 車いす」の会事務局

TEL/FAX 011-242-8171

E-mail tondeke@anet.ne.jp

## 徹底討論! 北海道の明日「環境・エネルギー」

~ 持続可能な社会をめざして! ~

日時 6月27日(日)13時30分~16時30分

会場 札幌市男女共同参画センター・ホール

札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F

参加費 1,000円(参加申込みは下記事務局まで)

託児(1,000円/人)の必要な方は、一週間前までにお申込みください。

「持続可能な社会」を作ることは世代を超えた人類の継続的テーマである。環境やエネルギーの視点からこれからの社会のあり方をひとりひとりが自分のこととして考える契機としたい。

(パネリスト) 飯田哲也・環境エネルギー政策研究所所長,

上田文雄・札幌市長, 逢坂誠二・ニセコ町長,

(コーディネーター) 山田厚史・朝日新聞編集委員

13時10分開場 13時30分開会

飯田哲也・環境エネルギー政策研究所所長、逢坂町長、上田市長から話題提起14時20分パネルディスカッション16時30分終了

主催 ナチュラブ・北海道

参加申込・事務局ナチュラブ・北海道代表上野伸子

TEL & FAX 011-512-3926

メール shinko3@mtb.biglobe.ne.jp

## 北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」紹介 04年度改訂版

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

## 北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位:円)

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月~6ヶ月)	相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料)	基本料金	20,000 ~
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します	1枚	200
印刷(予約制)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します	片面 B5 1000 枚	2,535
黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は良 心的な印刷所を紹介)	紙代込みです。(100枚以上~) (厚紙や色紙は少し高くなります。ご相談下さい) A3まで印刷可 (両面は片面の倍)	片面 A4 1000枚	2,535
		片面 B4 1000枚	4,035
		片面 A3 1000枚	4,035
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します(100枚単位) 片面初版代:300円、両面初版代:500円 が 別途かかります	片面 カラー	1,400
		片面 白黒	1,000
		両面 カラー	2,200
		両面 白黒	1,800
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅45cm)に印刷します	片面のみ	1,000~
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	200
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります	5枚以上 1枚	4,300
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	60~
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、 提出までのサポートを行います	介護保険 1事業所	10,000~
		支援費 1事業所	7,000~
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします	1事業所	2,500~

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバーによる相談を随時受け付けております。(※スタッフが聞きし専門家にお伝えします)

法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

## NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階

電話番号011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間10:00~18:00(土、日、祝日は休む時があります)

## 北海道NPOサポートセンター相談センター・研修室 / NPO推進北海道会議分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, 011-281-5927 FAX番号 011-281-8807

通常業務時間10:00~18:00(土、日、祝日は休む時があります)

- すいすい読めてよくわかる - 『ぜ~んぶまるごとNPO』2004年度版好評発売中

発行 NPO法人北海道NPOサポートセンター 定価400円(税込み)

これからNPO法人格取得を考えている団体におすすめ。

(目次) 市民活動とは 法人格取得の申請手続き NPOと法制度の現状 会計、事業報告、税務について 資料編として、・特定非営利活動促進法(平成15年5月1日施行版)・特定非営利活動促進法施行規則(同)・特定非営利活動促進法施行条例・申請に必要な書類(ひな型)を掲載しています。

[問合せ]北海道NPOサポートセンターTEL:011-204-6523 E-mail:npo@mb.infosnow.ne.jp

**書籍案内 月刊自治研 4月号**

[労働者・市民・研究者の交流で"自治時代"をつくりだす]月刊自治研4月号の主な内容 - -

**特集「NPO支援の功罪」**

論文

- ➔ NPO法人制度の改革方向・・・浜辺哲也
- ➔ NPOに必要な支援とは何か?・・・松原明
- ➔ 「パートナーシップ」事業の現実と課題  
・・・川村研治

- ➔ 公設公営型NPO支援センターは必要か?  
・・・土屋真美子

- ➔ NPO支援条例の問題点・・・菅原敏夫

- ➔ 自治体とNPO  
との新たな関係  
・・・松井真理子

**報告**

- ➔ NPOへの資金  
提供システムを問う  
・・・阿部圭宏

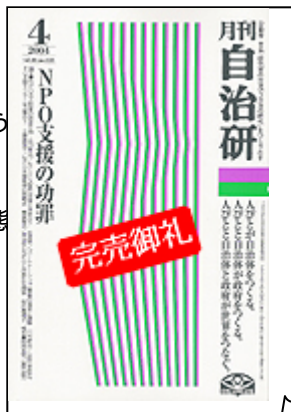
- ➔ 「官製」NPOに  
よる受託事業の実態  
・・・富井貞芳

108P

定価税込 ¥650

問合せ TEL

(011)204-6523



**書籍案内 2004年度版**

**介護事業所ガイドブック発売中!!**

札幌市介護保険・福祉サービス「事業所ガイドブック」講評発売中です!! 札幌市内事業所 1336カ所!を掲載。(一部市外を含みます)サービスの提供地域やサービスの時間、人員体制、利用料金、などなど情報が満載の一冊です。

介護保険事業所は在宅・施設サービスのほとんどを収録。介護保険対象外サービスは下記を掲載。

【介護保険対象外事業所】-

ホームヘルプサービス

理美容サービス

配食サービス

ミニデイサービス

移送サービス

養護老人ホーム

軽費老人ホーム

高齢者共同住宅

札幌市在宅介護支援

センターの情報も併せて

掲載しております。

是非お手元にどうぞ。

発行 北海道NPOサポートセンター

[A4版 448ページ定価税込み 2000円]

問合せ TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524



**NPOな...**

**書籍案内 [えぬびおん]**

第10号(4月25日発行)

**の主な内容**

特集

スポーツで北海道に夢と活力を!!

パーバリアンフットボールクラブ 札幌イーガー・ビーズ 北海道ベースボールクラブ 昭和新山国際雪合戦(壮瞥町) 国際パークゴルフ協会(幕別町) 伊達市カーリング協会(伊達市)ほか。

フロント対談 めざせ!スポーツ王国北海道-誰でもスポーツを楽しめるスポーツクラブを各地に 北海道フットボールクラブ(HFC)代表取締役副社長 石水勲さん 北海道パーバリアンズラグビーフットボールクラブ ゼネラルマネージャー 平島英治さん、スポーツライター 伊藤龍治さん

NPO現場百景 連載エッセーねおすのNPO的経営談義 ワーカーズが行く 宅配弁当「なす菜」 この人似合いたい漫画家「はた万次郎」

定価800円 [問合せ] 北海道NPOサポートセンター TEL:011-204-6523



**書籍案内 げんばの知恵袋** 価格: 2,500円(税別) A4判: 126ページ

現場の知恵がもりもりたくさん!! 横浜市内のNPOから集めた、現場の知恵やノウハウをご紹介。毎日の業務で「ヨソの団体ではどうしているのかしら?」と思ったら...「うちにはない解決策」が欲しくなったら...料理のレシピのように開いて、自分に必要な情報をピックアップ!

ヘルパーの雇用

ヘルパーの育成

<新任ヘルパー>

<現任ヘルパー>

<サービス提供責任者

・管理者>

事務局スタッフ

理事

組織運営

コミュニケーション

経営資源の調達

リスクマネジメント

管理業務 お役立ちリスト

事務所移転時の手続き、理事長交代時の手続き、神奈川県・横浜市(委託事業)実地指導の調査項目リスト [問合せ]北海道NPOサポートセンター

TEL:011-204-6523

E-mailnpo@mb.infosnow.ne.jp





## 助成金情報

インターネット環境にないNPOのみならずへ「助成金を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を良く聞きます。

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネットから取得(ダウンロード)する方式が増えています。また、さまざまな助成金情報をインターネットから取得することができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環境にないNPOの為に、

IT推進NPOの紹介

パソコンの導入設定・インターネット環境整備支援

助成金情報取得支援/助成金申請サポートを行っています。(地域によって対応できない場合があります)

詳細はお問い合わせください。

電話011-204-6523(担当:畑)

下記の助成金情報についてはインターネットからの取得情報(抜粋)です。詳細は各助成元に問い合わせ下さい。(印の情報については、北海道NPOサポートセンターに応募要項があります。)

### NHK「わかば基金」

1. 支援対象 地域で活発な福祉活動をすすめているグループを対象とします。
  2. 支援金額 1グループにつき上限70万円です。およそ15グループを支援する予定です。申込書はダウンロードして下さい。(郵送での取寄せも可能)
  3. 申込方法 NHK厚生文化事業団および各支局へ下記URLからA3版書類(pdf)をダウンロード  
<http://www.npwo.or.jp/topics/images/wakaba16.pdf>
  4. 締切 6月25日(金)必着【郵送のみ】
- 問い合わせ(インターネット環境にない場合)(平日9:30~18:00) NHK厚生文化事業団  
TEL 03(3481)7855

ファイザープログラム 心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援 助成元: ファイザー株式会社  
<http://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/philanthropy/>

金額: 上限300万円。今年度は総額3000万円、15件程度の助成を行う予定。締切日2004年6月28日

本年度の重点課題は、「成長過程にある人たちの心身の発達を支援する活動」、「社会的な受け皿がないために保健・医療が受けられない人たちの心身のケアを支援する活動」、「障害をもつ人や療養にある人たちの充実した生き方を支援する活動」です。日本国内に活動拠点があり、原則として2年以上の活動実績があることが必要です。問合せ 電話 03-5309-7663

fax 03-5309-9004

つたえよう夢を、未来の札幌に



### ブルーアース基金

この基金は、社団法人札幌青年会議所のブルーアース宣言に基づく札幌市民の生活、文化の向上に寄与するまちづくり並びに人づくりを目的として活動している団体への金銭給付をとおして、その活動を支援することを目的としています。2004年度ブルーアース基金テーマ「つたえよう夢を、未来の札幌(まち)に。」に沿った事業。

本年度の助成総額を100万円といたします。  
2004年度受付期限 6月30日(水)まで必着のこと。  
問い合わせ 社団法人札幌青年会議所  
ブルーアース基金運営委員会事務局  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目経済センタービル9階 FAX: 011-222-5801  
E-mail: sapporojc@msj.biglobe.ne.jp

URL <http://www.sapporo-jc.or.jp/bu-hp/bu-hp.htm>  
平成16年度(第30回)社会福祉助成金募集要項  
社会福祉法人 丸紅基金 助成金総額は1億円を目処とし、50件以上の助成を行います。1件当たりの助成金額は、原則として、200万円を上限とします。当基金の助成は、わが国における社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体が企画する事業案件で、次の条件を具備するものを対象とします。申込者(実施主体)は、原則として非営利の法人であること等

申込方法 申込書など申込関係書類は、URLからダウンロードしてください。ダウンロードができない場合には、ファックス、ハガキ、または、Eメールにて、下記を明記の上、当基金にご請求ください。郵便番号と住所、団体名、担当者名、電話番号、ファックス番号  
申込受付期間 申込〆切 6月30日(水)  
\*問い合わせ〒108-0014 東京都港区芝5-20-6  
丸紅東京本社 三田別館 社会福祉法人 丸紅基金  
電話: 03-5446-2474・2475 ファックス: 03-5446-2476  
E-mail: mkikin@marubeni.com

社会福祉助成事業 太陽生命ひまわり厚生財団  
高齢者福祉に関する事業や研究・調査への助成ならびに障害者の自立、社会参加等に関する事業への、助成活動を行ってまいります。

助成事業および金額: 総額2,300万円

- I.事業助成
- 1.在宅高齢者等の福祉に関する事業への助成:社会福祉法人、その他の法人または民間団体が実施する在宅高齢者等の福祉に関して実施する事業や、その他、現状を改革し、創意工夫に基づく試みに対し助成する。(但し車輛は対象外)助成額: 1件あたり30万円~100万円 合計500万円
  - 2.民間ボランティアグループへの助成:民間ボランティアグループが、在宅高齢者等または障害者の福祉に関する事業を行うために必要な機器、機材、備品等を整備する事業に対し助成する。(但し車輛は対象外)助成額: 1件あたり20~50万円 合計500万円
  - 3.障害者の福祉に関し啓発し、開発し、また普及深化させる事業への助成:社会福祉法人、その他の法人、または民間団体が障害者の福祉に関して、これを啓発し、または開発し、もしくは普及深化させるために行う事業に対し助成する。(但し車輛は対象外)助成額: 1件あたり30万円~100万円 合計500万円
  - 4.障害者に対する授産施設または小規模作業所を整備する事業への助成:社会福祉法人、その他の法人または民間団体が実施する障害者に対する授産施設または小規模作業所の作業機器、作業環境を整備する事業に対し助成する。(但し車輛は対象外)助成額: 1件あたり30万円~50万円 合計500万円

- II.研究助成
- 1.老人保健、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究・調査への助成:社会福祉法人、その他の法人または民間機関等が実施する老人保健、老人医療、生活習慣病に関する研究ならびに高齢者福祉に資する研究または調査

